

やる気発生装置

京都府立洛西高等学校

京都市の南西の果て、洛西ニュータウンの奥地に位置する洛西高校は、京都市の北東にある当塾の周辺からだ約 17km の距離に加えて、厳しい坂道の数々を越えて行かねばなりません。去年ママチャリで出かけた僕は、その時は汗だくのヘトヘトになって息を切らしながら「もう二度と来んわ！」とボヤきつつ学校に入ったのですが、今年は自転車も新しくなり、再挑戦がちょっと楽しみでした。そんなわけで自転車こいで、見学に行きまして。

京都市街を通り抜けて桂川を渡ると、千代原口の交差点から京都明徳高校のあたりまで、国道 9 号線の過酷な上り坂になります。交通量もかなり多くて、自転車で走る京都市内の道としては屈指の難所といえるでしょう。そこをなんとか乗り越えて洛西ニュータウンに入ると、学校のすぐ前の道から校門まで、とどめを刺すような坂道が待っています。新しい自転車の威力もあって、それも突破して無事に到着。1 時間ほどのサイクリングでした。地元の先生が「なに、ここへチャリで来たん？ 元気やな～」と、半ば呆れたような声をかけて下さいます。あっ申し遅れましたが、左京区から洛西高校に通うのであれば、阪急に乗って桂駅からバスというのが一般的なルートです。西京区や向日市など近いところから通う生徒さんは電動チャリで坂道を乗り越えて通学しているそうです。

小高い丘のようなところにある学校なので、来るには坂道と戦わねばなりません、それだけに教室の窓から眺める景色は絶品です。涼しい秋の風が吹いてきて、なんとも快適。学校の先生が教育の特色などを説明してくださっている間、あまりの気持ちよさに思わず意識が飛んで…、というのは内緒ですが、はるか昔の高校時代に戻ったような、落ち着いた気分させてもらったことは確かです。ちょうど定期テストの直前だったということで、見学させてもらったあちこちの教室、見るからに真面目そうな生徒さんたちが黙々と課題に取り組み勉強している様子がかがえました。そして、この学校の推しポイントの 1 つが図書室。地味な存在ではありますが 3 万冊の蔵書があり、熱心な司書の先生と図書委員の生徒さんたちが協力して、かなり手の込んだ本の展示、室内の飾りつけがなされています。ここで読書や勉強をする時間のなかに、思わぬ青春の 1 ページが潜んでいそうな気がしました。



青空を眺めつつ自転車で桂川を渡る、これは爽快なんですけど、ここから過酷な上り坂が待っています。



写真では分かりづらいですが、校門のすぐ前も上り坂になっています。たとえ電車やバスを使っても、この坂は避けることができません。



にぎやかな展示本や装飾に囲まれた図書室は、この学校のひそかなアピールポイントです。青春を彩る一冊に出会ってほしい、その思いを司書の先生が熱く語って下さいました。

当面の教室予定

12/10(火)~12/13(金)

16:00~22:00

12/14(土)

10:00~12:00

(午後はお休みです)

12/15(日)

16:00~21:00

※21 時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。